

篠山市公民館だより 第27号 四季の森通信

発行元
篠山市立中央公民館
篠山市網掛429
TEL079-594-1180
館長 樋口 裕 昭
平成28年12月21日

北野先生の
川柳ワンポイントアドバイス
・自分の言いたいことや伝えたいことが伝わるかどうか、もう一度読み返してみよう。
・無用な一字でリズムを崩す「字余り」に気をつけよう。

川柳 北野哲男選 お題「米」
最優秀 米櫃は 何時も一杯 平和です
(評) 平和でこそ的一句。全く同感です。永劫に続きますように。 篠山市住山 松本 一等
優秀 戦中の 米の配給 夢に出る
(評) 最優秀句と対照的な一句で私も体験しました。 篠山市小多田 清水 一雄
稲田にて 飛んでたいなご どこへやら
(評) 強い農業で動物の生態系がくるっっています。いなごのいなご田んぼは異状。 篠山市立町 五十川 順子
新米を 呉れる娘も 農に馴れ
(評) 農家に嫁いだ娘さんの元気の思恵に感謝と喜び。 篠山市桑原 太治野 みゆき
次号のお題「誕生日」1月31日締め切り

川柳の応募は下記へお願いします。
〒669-2205
篠山市網掛429
篠山市立中央公民館
FAX594-1174

公民館のお得意様 芦声三味線教室



クラブ名「芦声(ろせい)」は指導者である高橋先生の師匠の雅号から来ています。篠山でこの教室を始めてから約30年になりますが、その間メンバーは入れ替わりながらも楽しく和気あいあいと楽しんでいます。メンバーを募集しているわけではないのですが、三味の音に魅せられて、また人づてに新しいメンバーも加わり、常に10名ほどが在籍しています。長唄から民謡、懐メロまでいろんな音楽を楽しんでいます。

公民館からのお知らせ

年末年始休館日について
公民館事務所休み
平成28年12月29日(木)
～平成29年1月3日(火)
※公民館事務所は4日より空いていますが、貸館と4月分予約は、1月5日(木)より開始。

編集後記

教育大綱では、今回とりあげた「地域に開かれた学校」以外にも「ふるさと教育」の推進が謳われています。大人の皆さんは子ども達に対して篠山の良さを伝えるときにどのように語りますか？互いに助け合う“結(ゆい)の精神”(相互扶助の精神)は、市内各所で催されるイベントや、地域での日常生活の中に垣間見ることができます。単に名所旧跡や特産物等の物質的なものだけでなく、このような目に見えないものも篠山が誇るべきものの一つだと感じています。公民館の事業をとおして、大人だけでなく子どもや若者が誇りを持ってこの良さを紡いでゆけたら素晴らしいと思う今日この頃です。(三)

四季の森通信のバックナンバーを置いています。ご希望の方は中央公民館まで

一生勉強一生青春

このコーナーでは、生涯学習に励まれている青春真っ只中の方をご紹介します。



「生活の中で、大事だと思っていることが、本当に大事なことなのか？それを考え直したい」

酒井 勝彦さん(古市)

子どもの頃から好奇心が強くて、とにかくいろんなことに興味を示していました。興味を持つと、一度やってみないと気がすまず、やってみて面白くないものは自然と淘汰されていきました。いろんな取組の中でも、愛着ある故郷「古市」の事を調べ上げて執筆した「私小説的古市の歴史」の出版は、もっともやり甲斐があり、『やって良かった!』と感じられるものでした。最近は、仲間とサキソフongループを結成し演奏活動をしたり、“ドローン”にもはまっています。 ※笑顔で語る酒井さんの瞳は少年のようにキラキラ輝いていました。

おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ!!

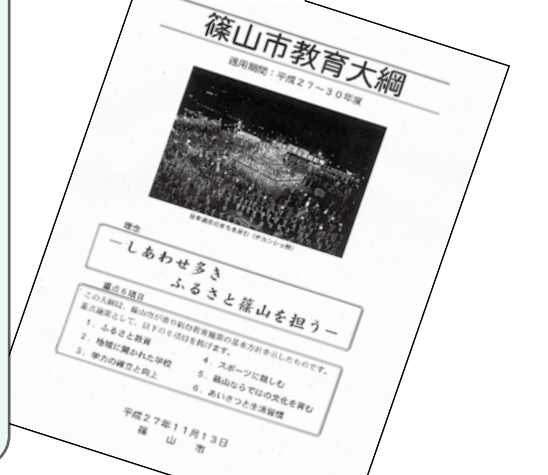
篠山市では、平成27年11月に「しあわせ多きふるさと篠山を担う」を理念に教育大綱を策定しました。

大綱では、篠山市が取り組む教育施策の基本方針を示しており、重点項目として右の6つの施策をあげています。

その中の「地域に開かれた学校」では「高齢者とともに学ぶ・・・おじいちゃん、おばあちゃんも学校へ」があり、学校を新たな生涯学習の場として、高齢者と子どもたちが共に学びあう機会を作ることをひとつの目標にしています。

今回は、世代を越えた新たな学びの場としての「高齢者大学と小学校の連携事業」を紹介します。

～“教育大綱”施策の実現に向け
小学校で高齢者大学～



【たき学園&多紀小学校】

11月20日、たき学園の趣味講座受講生25人と、多紀小学校4～6年生49人が4つの講座(書道・太極拳・歌唱・俳句)に分かれ、高齢者大学講師(それぞれ坂部泰子氏・大杉幸生氏・吉田真知子氏・林芳子氏)の指導のもと一緒に学びました。



【たんなん学園&古市小学校】

11月27日、たんなん学園スポーツ吹矢講座受講生4人と講師(西尾昌三氏)が古市小学校ニュースポーツクラブの4～6年生15人に吹矢を伝授しました。



9月よりたんなん学園受講生の作品を古市小の図書館前に展示しています。作品が多く、1ヶ月毎に入れ替えます。

一般教養講座も小学校で開講！！



かやのみ学園&城東小学校

11月14日、かやのみ学園11月度の一般教養講座「心でつなぐ音楽の輪」(講師：音楽療法士 梅谷浩子氏)を城東小学校全校生107人と一緒に受講しました。

さぎそう学園&今田小学校

11月18日、さぎそう学園11月度の一般教養講座「鵜の目・タカの子・記者の目～災害時に人間は～」(講師：丹波新聞社 森田靖久氏)を今田小学校5・6年生49人と一緒に受講しました。

「また来て教えてね！」

「元気とパワーをありがとう！」

アンケートでは“喜びの声”が多数

連携事業アンケートの回答を一部紹介します。
(たき学園&多紀小学校・たんなん学園&古市小学校分)
(小学生の意見)

Q. おじいちゃんおばあちゃんに教えてほしいことは？

- ・けん玉、コマ回し
- ・地元にある昔話
- ・茶道華道料理
- ・昔の学校生活
- ・生きていてどんなことがあったか など

Q. おじいちゃんおばあちゃんに教えてあげたいことは？

- ・ゲームやスマホの使い方
- ・今流行っている遊び
- ・レモンの絞り方
- ・現在の言葉づかい
- ・僕たちの元気良さ
- ・多紀っ子は優しいこと

【小学生の感想】

- ・僕の知らない歌もすぐに歌えました。一番楽しかった歌は「揚げば尊し」です。
- ・今度俳句講座をするときは、作ってきた俳句の訂正などをしてほしいです。
- ・最初はそんなに楽しみじゃなかったし、どんなのかもわからなかったのですが、楽しみじゃなかったけど、やってみたらすごく楽しかったです。先生たちが励ましてくれたり教えてくれたおかげで最後の「花」の字はきれいに書けました。
- ・太極拳のルールや伝統が良くわかりました。体の中からきたえられたような気がします。
- ・初めて吹矢をしましたが、おじいちゃん・おばあちゃんが上手に吹き方を教えてくれ、何度も的に当たったので、よかったと思いました。

【高齢者大学受講生の意見】

Q. 子どもたちに教えてほしいことは？

- ・学校での出来事、遊びのこと、何でも話してほしい。
- ・将来の希望。地元への期待。

Q. 子どもたちに教えてあげたいことは？

- ・高齢者の思い、取り組みを対話を通じて伝えたい。
- ・礼儀
- ・社会の一端を経験談で。

【高齢者大学受講生の感想】

- ・とても楽しい時間だった。またの機会が楽しみ。
- ・母校に来られたことは大変嬉しい。
- ・思ったより楽しかったです。児童とは話せませんでしたでしたが、終わった後清々しくて・・・ 皆さんお上手でした。
- ・児童さんたちはとても元気で好感が持てました。
- ・音楽の時間に指揮の練習をされては？
私は中学の頃、3拍子、4拍子の指揮の仕方を習って楽しかったです。



ご紹介した4つの学園以外にも、あおやま学園では12月にプレ事業を実施しました。



また、しゃくなげ学園、羽東学園については、平成29年度の実施をめざして調整中です。

篠山のミライをつくる学び

前川修哉教育長のコメント

市内小学生と高齢者大学生による協働の学びが始まりました。高齢者が学んでいることを知らない子どもたちがたくさんいます。また、現代の子どもたちがどのようなことに興味や関心を持っているのかをご存じない方も多くあります。この事業を通して、篠山の伝統文化やこの地域で生活することの楽しさが世代から世代へと引き継がれ、篠山のミライをつくる学びへと進んでいくことを願っています。



前川修哉教育長

これらの作品は、中央大会(11月25日/淡路島)に出展されました。

学ぶ高齢者の集い丹波ブロック大会入選作品のご紹介

【日本画部門】入賞 作品名「川代溪谷」



細見信利さん / 宇土【しゃくなげ学園】

しゃくなげ学園水墨画講座に入会し、諸先輩に指導頂き10年目になります。その間、今回の大会に出品して今年3回目の入選となります。今回の作品は以前から描きたく思っていた画材で、山南町の吊り橋まで足を運び写真を撮ったり、構図を考えたりして作品に仕上げました。

好奇心で始めた水墨画が20年になります。これからも頑張って、水墨画講座の皆さんと共に、勉強していきたいと思えます。ご指導ご協力よろしくお願いいたします。

【洋画部門】入賞 作品名「夕やけ」



西脇幸枝さん / 奥畑【あおやま学園】

赤いお花、赤い夕焼け。赤色は素敵な色です。今回はそんな赤色の世界を描きたくて作品にしました。10年ほど前からみたけ会館のファンタジック水彩画の教室に通っています。もともと絵は好きでしたが、教室の畑百代先生のお人柄が素敵なのがきっかけで、教室に通うようになりました。

入選していることは、家には連絡はあったようですが、私自身は当日会場で知りました。突然のことで大変驚きました。同時に嬉しさもこみ上げてきました。この度は、素敵な機会を頂き、本当にありがとうございました。

【趣味講座でご指導いただいている講師先生をご紹介します】

手芸講座
さぎそう学園



坂田 理代子先生

パッチワークで様々な作品作りを指導しています。私は昔から布が大好きで、ミニタペストリーを作ったのがきっかけでパッチワークを始めて35年になります。高齢者大学の他自宅のアトリエでも教えています。手芸は手間がかかり難しいイメージもありますが、チクチク縫っていると必ず仕上がります。そして自分で作った作品を見ると心癒されます。高齢者大学の皆さんはとても賑やかに一生懸命されており、私も嬉しいです。私も皆さんと一緒に自分の作品作りも頑張ります。

舞踊講座
しゃくなげ学園



芦田 喜美子先生

子どもの頃から舞踊が好きでお稽古に励み、名取(S61)師範(H3)の資格を取得しました。現在は、丹波市・篠山市・三田市で教室を持ち、指導やお稽古に励んでいます。皆さん着物を着て体を動かすことで元気で楽しく練習できると、年齢と共にくる体のあちこちの痛みにも負けず頑張っておられます。高齢者大学も4年前から指導していますが、これからも皆様と一緒に人とのふれあい・絆を大切に体につけて頑張りたいと思っております。